

7 第2次選抜試験の日時及び試験場

日時

月日	時間	8:00	9:00
		8:30	
11月18日(水)	受付	諸注意	面接

(注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには定められた集合場所に集合してください。
2 遅刻した者には、試験開始後30分までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 理工学部	桐生市天神町一丁目5番1号	22ページ「試験場までの交通案内」参照

8 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への就学支援を行っております。

障害等があつて、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。時期を過ぎてからの相談は、対応できない場合がありますので、ご注意ください。

(1) 相談の時期

2020年9月14日(月)までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。

(2) 相談の方法

本学所定の相談書(本学ホームページ参照 <https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/g2117>)に医師の診断書等(写し可)必要書類を添付して提出してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る方との面談等を行います。

(3) 相談書送付先

群馬大学学務部学生受入課入学試験係

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 電話:027-220-7150

9 合格者発表

(1) 第1次選抜合格者発表

2020年11月10日(火)

第1次選抜合格者には、合格通知書を郵送します。併せて第1次選抜合格者の受験番号を群馬大学のホームページ(入試情報)に同日の10時以降掲載します。大学構内での提示等はありません。群馬大学ホームページ:[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

第1次選抜不合格者には、不合格通知書及び検定料払戻請求書を郵送します。

なお、合否についての電話による問合せには応じません。

(2) 最終合格者発表

2020年12月4日(金)

合格者にのみ合格通知書を郵送します。併せて合格者の受験番号を群馬大学のホームページ

(入試情報)に同日の10時以降掲載します。大学構内での掲示等はありません。

群馬大学ホームページ：[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

なお、可否についての電話による問合せには応じません。

※総合型選抜で合格した者は、他の国公立大学を受験しても、その大学の合格者となりません。

ただし、特別の事情があり、2021年2月22日(月)までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その許可が得られた場合はこの限りではありません。

※合格通知書等は、インターネット出願時に入力した住所あてに郵送します。

10 第2次選抜試験受験心得

- (1) 第1次選抜合格者は、「群馬大学受験票」を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。
なお、合格後、入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- (2) 課せられた試験を全て受験しなければ、失格となります。
- (3) 試験室では受験番号と同じ番号の席に着き、「群馬大学受験票」を机上の右上隅に置いてください。
- (4) 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- (5) 試験中は、監督者の指示に従ってください。
- (6) 不正行為を行った者は、失格とします。
- (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・救急車・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (8) 途中退場は認めません。
- (9) 時計は計時機能だけのものとします。携帯電話や音の出る機器及び録音機(ICレコーダー)等は身につけてはいけません。必ずアラームを解除し電源を切り、かばんなどにしまってください。このことを守れない場合は、不正行為とみなされ、受験資格を失うことがあります。
- (10) 辞書の使用は認めません。
- (11) 昼食は必ず持参してください。
- (12) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。
- (13) マスクを必ず持参し、着用してください。
- (14) このほか場合により受験上の注意を試験場に掲示するので、よく見ておいてください。

11 入学手続等

合格者は、「合格通知書」とともに同封する案内を参照し、次のとおり入学手続を行ってください。

- (1) 入学手続期間 2020年12月7日(月)から12月14日(月) 郵送必着
- (2) 入学手続に必要なもの
 - ①入学料 282,000円

(注)ア. 入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ. 入学料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

②本学の受験票

③入学手続案内で指示するもの

(3) 入学後に必要な納付金

①授業料 前期分 267,900 円 年額 535,800 円

(注)ア. 授業料に、入学時および在学中に改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ. 授業料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ. 授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に、前期分又は前期分・後期分を合わせて納入することができます。

エ. 授業料を納入した入学手続完了者が、2021年3月31日（水）までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続きの上、納入した授業料相当額を返還します。

② その他の諸経費

入学料、授業料の他に、次の諸経費があります（納入日等は後日指示されます。なお、金額は予定であり、入学時及び在学中に改定が行われる場合があります）。

88,560円〔内訳：後援会費20,000円／工業会費(同窓会終身会費)50,000円／
学生教育研究災害傷害保険料3,300円／学研災付帯賠償責任保険料1,360円／
荒牧クラブ・サークル協議会費4,000円／学友会費9,900円〕

※その他テキスト代として、年間44,000円程度必要になります。

(4) 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者（外国人留学生を除く日本学生支援機構給付型奨学金支給対象者）に対して、入学料及び授業料を免除する制度があります。また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ (<https://www.gunma-u.ac.jp/>) の「受験生のみなさまへ」を御覧ください。

問合せ先 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7141

(5) 奨学金

経済的理由により就学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ (<https://www.gunma-u.ac.jp/>) の「受験生のみなさまへ」を御覧ください。

問合せ先 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

12 一般選抜等への出願について

本選抜において不合格となった者は、本学の他の選抜又は他大学の選抜に出願することができます。

また、大学入学共通テストを受けた者で国立大学の一般選抜に出願しようとする者は、各大学の所定の方法により、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学に出願することができます（公立大学については、協会ホームページを参照。<http://www.kodaikyo.org/>）。

なお、本学の他の選抜へ再度出願する場合でも、一般志願者と全く同様の出願手続（検定料は17,000円）が必要です。

13 入学準備

入学手続者には、入学までの更なる学力向上のため、各類が指定する課題を課し、それに対する報告書を提出していただきます（詳細は、入学手続完了後に通知します）。

また、基礎学力の確認のため、2021年1月に実施される大学入学共通テストの受験を強く推奨しています。大学入学共通テストを受験した者は、数学・理科・外国語の「自己採点結果」を下記宛先へ2月3日（水）までに提出してください（大学入学共通テストの出願時に、成績開示を希望した場合は、大学入試センターから送付される「成績通知書」（コピーでも可）も、入学後に提出してください）。

入学後、この成績を参考に「グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム」（下記参照）を希望する学生を選抜します。また、入学後の入門科目の受講免除の判定にも用います。

なお、この成績は総合型選抜の可否には関係ありません。

「自己採点結果」及び「成績通知書」送付先

〒376-8515 桐生市天神町一丁目5番1号 群馬大学理工学部学務係

※封筒には「大学入学共通テスト自己採点結果在中」又は「大学入学共通テスト成績通知書在中」と朱書してください。

グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム

群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。その一環として、グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムを設置し、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の習得を中心とした教育を行うとともに、海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育てます。